

文化・芸術

「Landing fruit/blue」

2019年、寒糸紗(かんれいしや)、パテ、
コロージュ、カゼイン、テンペラ、アクリル、
クレヨン、パネル、182cm×113.5cm
(作者奇贈)

小林達也 (1973年)

小林達也氏は、2006年に茨城県古河市から桐生に転居、以後現在まで桐生を創作活動の拠点としています。

彼の作品は、絵画表現が中心です。白い平面の上にさまざまな色彩と線が折り重なっています。それは恣意(しい)的でも、偶然でもなく、さまざまな画材をつかいながら、繊細に時間をかけて構成されているのです。作品の前に立てば、色面の層が、互いに遠く、近くに、また深く、浅く。あるいは軽く、重く、さらに表面もツルツル、ザラザラと折り重なっていることがわかります。

題名の「Landing」を、文字通りの着陸、上陸と理解すれば、描く行為をつづけてきてできた平面に、緊張と落ち着きを獲得したと納得できた時ではないでしょうか。

昨年開催した「桐生のアーティスト2020」に出品された作品です。なお5月の連休中には、当美術館でワークショップの講師を務めていただく予定です。(田中)

名画の扉

大川美術館新収蔵作品から

